

日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区創立30周年記念事業

## 記念キャンポリー2012

The 30<sup>th</sup> Anniversary Camporee 2012 KENOH

### 基本実施要綱

テーマ『絆を深め、新たな挑戦！』

～ 仲間の輪をひろげ ともに笑顔で語ろう ～



開催期間	平成24年8月10日(金)～8月13日(月)
会場	相模原市緑区葉山島下河原地先 葉山島青少年広場
主催	日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区協議会

# 日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区創立30周年記念事業

## 記念キャンポリー2012 基本実施要項

### 1. 開催の趣旨

記念キャンポリー2012は、県央地区創立30周年記念事業の一環として、地区内のボーイスカウトと指導者が相模川のほとりに一堂に集い、絆を深めるとともに新たなチャレンジの出発点となり、スカウト運動の新たな10年への足掛かりとするために開催する。

たくさんの自然が残っている相模原市葉山島での野外生活を通じて、自然への畏敬、仲間との絆を深めるとともに、活気あふれる躍動したスカウティングの実現を目指すために“班による活動（班制度）”と進歩向上（進歩制度）を基本とするプログラムを楽しむものとする。

さらに、地区内ボーイスカウトの一人ひとりが自発的に参加し、継続的に自然との共生について学び、班の仲間とともに自発的に、新たな環境に挑戦することによって仲間との絆を深め、よりよき社会人としての資質を高めることによるスカウト運動発展への寄与および県央地区スカウトの増加に向けて確かな前進を続ける希望の年とすることを目的とする。

### 2. 名 称

日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区創立30周年記念事業  
『記念キャンポリー2012』

### 3. 主催・後援

「主 催」 日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区協議会

### 4. テ ー マ

『絆<sup>きずな</sup>を深め、新たな挑<sup>ちようせん</sup>戦！』

～ 仲間の輪をひろげ ともに笑顔で語ろう ～

## 5. 期 間

- (1) 本記念事業は、平成24年8月10日(金)の開会式に始まり、8月13日(月)の閉会式をもって終了する。
- (2) 会場は、平成24年8月10日(金)11時に開場し、8月13日(月)15時に閉場する。

## 6. 会 場

- (1) 相模原市緑区葉山島下河原地先 葉山島青少年広場
- (2) 会場の面積 約8,000㎡でその大半は草地

## 7. 交 通 手 段

- (1) 参加隊の交通手段は、各隊で確保する。
- (2) 参加隊1隊につき1台分の駐車場は、確保する。
- (3) 自転車の駐輪場は、駐車場の一部に確保する。
- (4) 別途設定するオープンデイのバスについては、事前に乗車人数を調査した後、バス会社と調整し、増便を確保するよう努める。

## 8. 参加者・参加資格

記念キャンポリー2012の参加者及び参加資格は次の通りとする。

### (1) 参加者

- ① 参加者は、県央地区に所属し、平成24年度加盟登録済のボーイスカウト、ベンチャースカウト、ローバースカウト及び指導者（隊指導者・団委員）とする。
- ② 記念キャンポリーの運営に必要な指導員及び指導者並びに大会本部が必要と認めた関係者は参加奉仕することができる。
- ③ オープンキャンプデイには大会本部が決めた期日に記念ワッペン着用して、ビーバースカウト、カブスカウト及び指導者が参加できる。
- ④ オープンキャンプデイには大会本部が認める一般参加者及び保護者等の参加ができる。

### (2) 参加資格

- ① ボーイスカウト、ベンチャースカウト
  - (ア) 隊長及び保護者の参加承認を得ていること。
  - (イ) 期間中、野営生活に耐え得る健康を充分維持できること。
  - (ウ) 参加費を納入していること。
- ② 指導者、ローバースカウト及び奉仕者
  - (ア) 事前準備から事後処理まで、十分に任務を遂行できること。
  - (イ) 参加費を納入していること。

## 9. 参加人員

参加人員は、総数約 450 名を予定する。 スカウト 約 330 名  
奉仕指導者 約 120 名  
(ローバースカウトを含む)

## 10. 参加費、参加申込み

### (1) 参加費

- ① キャンポリーへの参加費は、参加者 1 名当たり 10,000 円とする。  
なお、参加隊スカウト・リーダーは途中入場または退場があっても参加費の減額はしない。
- ② 地区役員は参加、不参加に関わらず 10,000 円とする。
- ③ 奉仕スタッフで、全期間通して参加が不可能な場合は、参加 1 日につき 2,500 円とし、前もって参加予定を提出することによって、名札と食券を配布する。
- ④ カブ・ビーバーデイの参加(入場)に際しては、胸に参加章(記念ワッペン)を着用する。もし、記念ワッペンが無い場合は、ワッペン代として 500 円を申受けます。
- ⑤ 一度納入された参加費は、原則として返金しない。但し、他のスカウトに振替えることはできる。
- ⑥ 参加費は、次の費用に充当する。
  - (ア) 8 月 10 日夕食分から、13 日の昼食分までの 9 食分の配給食料費(但し、米は含まない。また米は無洗米を原則とする。)
  - (イ) 参加授及び配布資料などの費用
  - (ウ) 会場の設備費及び運営費の一部
  - (エ) 期間中の救護医療費及び運営費の一部
  - (オ) 傷害保険料
  - (カ) その他

### (2) 参加予定申込み

各団ごとにまとめて、別途示す参加予定申込書に必要事項を記入し、平成 24 年 3 月 30 日までに総務班に申し込む。併せて参加予納金 1 名あたり 3,000 円を別に示す指定口座に平成 24 年 3 月 30 日までに振り込む。

### (3) 参加確定申込み

- ① ボーイ隊スカウト、指導者、上級班長及び隊付きして参加するベンチャースカウト(以上参加隊)は、各団ごとにまとめて別に示す参加確定申込書に必要事項を記入し、平成 24 年 6 月 30 日までに、総務班に申し込む。併せて、参加費の残金を別に示す指定口座に平成 24 年 6 月 30 日までに振り込む。なお、選択プログラムや有料プログラムについては、平成 24 年 6 月 30 日までに案内をする。
- ② 上記①を除く地区役員、キャンポリー実行委員、奉仕スタッフ(含む、運営に必要な指導員)、奉仕ベンチャースカウト(参加隊と別に奉仕隊を編成する)、カラーチ

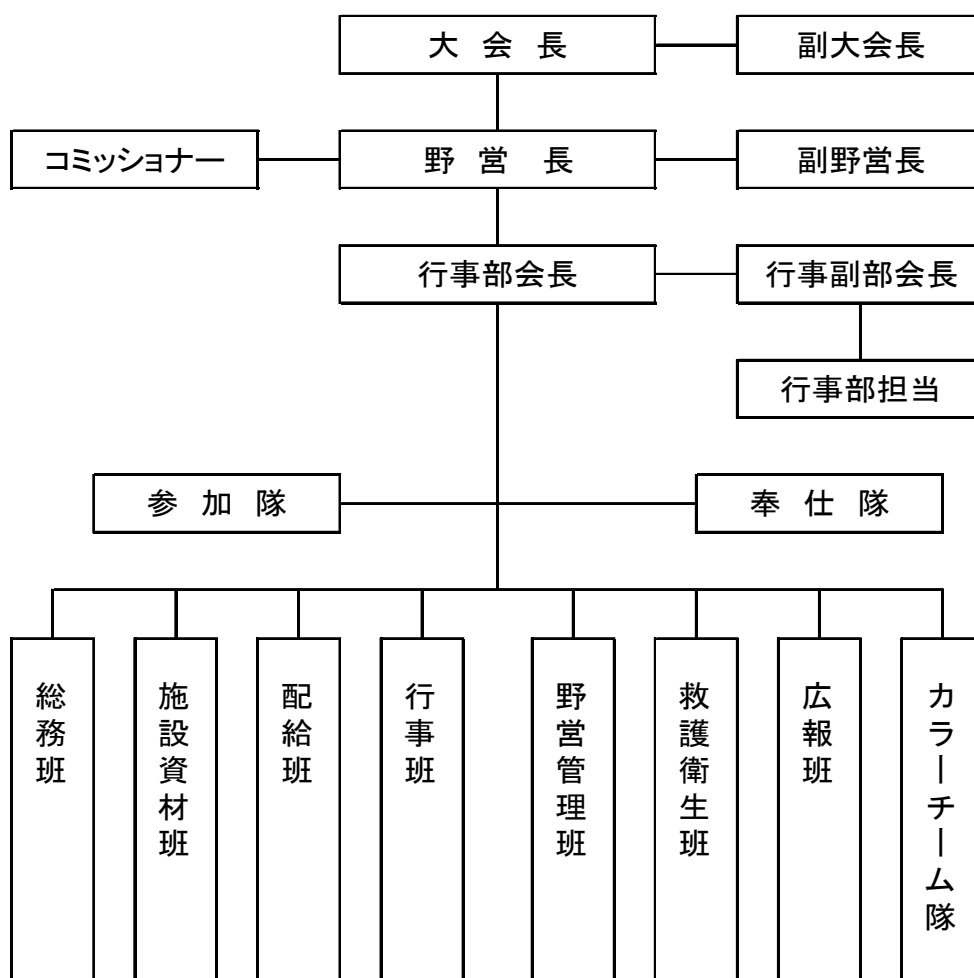
ーム隊員及びその他の指導者は、団毎にまとめて必要事項を奉仕者参加申込書に記入し、上記と同様に総務班に提出する。

- ③ また、オープンキャンプデイに参加するカブ・ビーバースカウト、およびその指導者や保護者は、その数を別に示す申込み用紙に記入し、また利用交通手段を記入して総務班に7月10日までに提出する。

## 11. 大会組織と運営

### (1) 大会組織

大会の組織は、次表に示すとおりとし、運営業務にあたる。(但し、参加隊は除く)尚、会期中の運営ならびに指示事項は、大会長の統括のもとに運営にあたる。



### (2) 運営班等の任務

- ◆ 大会長 大会を代表する。大会の運営にあたり、実施の全般的責任を持つ。
- ◆ 副大会長 大会長を補佐し、大会長不在のときはその責任を代行する。
- ◆ 野営長 参加隊を統括し、副野営長と協議し、野営基準を維持・指導する。

野営管理班に助言・協力し、設営・撤営を円滑に推進・指導する。  
悪天候時、大会長の指示により安全措置を行い、現場を指揮する。

- ◆ 副野営長  
野営長を補佐し、野営長不在のときはその責務を代行する。  
野営長の指揮により、分掌業務を遂行する。  
安全管理、疾病・事故の防止、緊急対策に留意する。  
悪天候時、緊急時など大会長の支持により、野営長と協働する。
- ◆ 行事部会長  
野営長の命をうけ、大会運営各班を代表するとともに、各班業務を統括し、運営する。  
野営長を通じ、参加隊を管理する。  
安全管理責任者業務を促進し、安全を指揮する。  
悪天候時、緊急時などの処置を指示する。
- ◆ 総務班  
参加者全般の受付業務。来賓の掌握と接伴、渉外に関すること。  
参加隊・運営各班日報、諸会議の招集・運営、指示事項の伝達、諸連絡（含む、参加隊）。駐車場の確保  
外出許可証・駐車許可証、リクエストカードの発行。  
売店の運営、本部給食。会計、現金収受に関すること。  
各班に必要なスタッフ確保、資金の確保。本部給食  
キャンポリーの記録の作成。  
広報活動、キャンポリー総合案内。  
その他、各班に属さないこと、総務庶務全般。
- ◆ 施設・資材班  
会場全体配置図、本部設営図、大会施設、ステージ、会場までのアプローチ、ゲートの装飾企画、作成。  
上記に必要な施設資材、設備、備品の調達、補充、施工依頼。  
本部および各班からの要請による資材の調達、準備。  
施設全体の保全について必要な処置を行い、保守や運営について業者委託を行う。  
悪天候時の備品供給の検討。全施設の撤収計画の作成。
- ◆ 配給班  
大会期間中の献立の作成、食材調達。  
配給食材リスト、配給方法の検討・作成、配給業務。  
配給食材の管理、鮮度の維持、食中毒の予防。
- ◆ 行事班（支援：カラーチーム班）  
ボーイスカウト部門、カブ・ビーバーディの活動プログラムの企画運営。  
活動場所の確保、使用許可取得。プログラム実施上の安全計画作成。  
悪天候時の代替プログラムの用意。  
参加隊スカウトへの、「参加のしおり(プログラムの案内)」の作成、

配布。

プログラム遂行にあたっての要員の確保と配置、内容の周知徹底。  
全体行事（開会式、閉会式、カブ・ビーバーデイ開会式、合同キャンプファイヤー、宗教行事）の企画  
パイオニア賞の企画・製作

◆野営管理班

野営の基準を維持・指導する。一般キャンパーへの配慮。  
野営地割り当て、会場全般の管理。  
トイレ、ゴミ回収、炊事場、火気使用などの管理。  
野営規則を作成し、指導執行する。  
会場全般を整備し、盗難や事故、トラブルの防止に努める。  
大会期間中、会場への入出乗者の管理を行う。  
参加隊、奉仕者などの車両運行管理、駐車場管理。  
悪天候に伴う危機管理規程の作成及び悪天候時大会長の指示により現場を指示する。

◆救護衛生班

救護所の設置と維持管理。健康調査票の発信、回収、保管。  
参加者の健康保持、保健衛生の管理・指導。  
必要な場合の指定病院への連絡、搬送。  
環境衛生、安全管理に係わる企画、基準等の作成  
野営管理班と協働し、水場、炊事場、トイレ・ゴミなどの衛生を保持する。

◆広報班

広報業務、マスコミ対応、情報の発信、キャンポリー記録の作成。

◆カラーチーム班

全体行事（開会式、閉会式、カブ・ビーバーデイ開会式、合同キャンプファイヤー）の企画、会場の設計、演出、運営、およびリハーサルの指導・指揮。外部依頼アトラクション、カラーチーム、出演者などの依頼、案内、掌握。  
本部朝礼、国旗降納の実施、国旗等の旗管理、基本日課の維持推進。  
全体行事会場の清掃、点検、管理、全体行事支援、野営管理支援  
上記に冠する要員の確保、配置、掌握し、訓練する。

## 12. 参 加 章

会場内では、参加隊およびオープンキャンプデイを含めて、参加するすべてのスカウト、指導者、スタッフ、保護者は、30周年記念事業のシンボルワッペンを着用する。着用位置は、制服上衣右ポケット中央とする。また、参加隊および指導者、奉仕スタッフは総務班より支給される名札を常時着用する。  
カブ・ビーバーデイを含めて、参加隊に対して参加綬を授与する。

### 13. キャンポリー日程とプログラム

- (1) キャンポリーの基本活動日程は、付表1に示すとおり。
- (2) 活動プログラムは全体行事と自主参加行事（選択プログラム）に区分する。
- (3) 全体行事は、開会式、宗教行事、キャンプファイヤー、閉会式とし、運営本部行事班及びカラーチーム班（プロジェクト対象項目）が企画運営する。
- (4) 自主参加プログラムは、行事班が企画運営するものとし、ボーイ部門とカブ・ビーバー部門（8月12日のみ）ごとに設置する。詳細については別に定める。
- (5) プログラム実施に関して、スカウトの自主参加を奨励するため「パイオニアリング賞」を設定する。所定の課程を修了したスカウトに対し、各隊長より授与する。
- (6) 国旗掲揚は午前8時に行う。指導者は制服制帽にて指定する場所に集合し全体で実施する。意をして、号音を待つ。本部の国旗掲揚に合わせて、各サイトも同時に掲揚する。
- (7) 国旗降納は、午後6時に行う。本部の国旗掲揚柱に向かい、号音による合図に従い敬礼する。（但し、制服でなくてよい）
- (8) 隊訪問交歓は、キャンポリーの有意義なプログラムであり、スカウトらしい交歓と訪問を期待する。
- (9) 各参加隊は、信仰奨励章を考え、日々のプログラムに加味することを奨励する。
- (10) オープンキャンプデイは、次項による。

### 14. オープンキャンプデイ

- (1) 県央地区創立30周年記念キャンポリーに、カブ隊・ビーバー隊も参加することによって、地区に所属するすべてのスカウトが一堂に会し、キャンポリーの目的や趣旨を共有達成することをねらいとして、カブ・ビーバーデイを設ける。
- (2) 8月12日（日）をオープンキャンプデイとして、9時から17時まで、県央地区のカブ隊およびビーバー隊のスカウト、指導者および保護者の参加を受け入れる。
- (3) 参加費は無料とするが、会場への入場は県央地区創立30周年記念ワッペンを着用を義務付ける。所持していない場合は、入場受付時に本部売店にて購入する。
- (4) オープンキャンプデイに参加するカブ・ビーバースカウト、およびその指導者や保護者は、各団ごとに参加人数及び利用交通手段を別に示す申込み用紙に記入して総務班に7月10日までに提出する。
- (5) 入場受付は8月12日（日）9時～9時30分の間に、会場本部にて入場受付を行う。
- (6) プログラム等のオープンキャンプデイ詳細は別に定める。
- (7) 当日の昼食あるいは、夕食は参加隊にて用意する。
- (8) 安全対策：会場で用意した活動プログラム以外での行動中の安全については、参加する各隊にて責任を持って安全対策を図る。特に、相模川河原へは、許可なく出入りしない。

### 15. 服装および携行品

- (1) 服装
  - ① 参加者の服装は正装とし、所定の記章、標章、及び参加章を正しく着用する。



- ② 開会式、閉会式、朝礼、宗教儀礼及びその他の公式の場では正装とする。それ以外は、スカウトらしさを損なわない活動着でよい。ただし、ネームホルダーは常時着用する。
- ③ プログラムに参加する服装は、別に発行する「参加のしおり」による。

## (2) 参加隊・班携行品及び装備品

- 隊旗、国旗、班旗
- 隊ののぼり、 テント(必要あればフライテント)、 テーブル・椅子、 炊事用具、 炊事用燃料、 照明器具(発電機は使用不可)、 救急薬品、 ポリバケツ、ごみ袋等の野営資材一式、 炊具・工具一式、 調味料(塩、コショウ、砂糖、醤油、油など)、 クーラーボックス、 到着報告書、 配給開始前の食料品、 ポイズンリムーバー、 飲料水(大会の初日に供給する飲料水について本部側の準備が滞り供給に混乱を招くことが考えられるため、ポリタン2個(18リットル相当)程度の持込みをお願いします)
- その他、隊として必要なもの(交歓用記念品、特別な食品類)、 選択プログラムのための準備品(参加のしおりを参照)

## (3) 個人携行品(3泊4日分)

- 加盟登録証、 参加のしおり、 名札(記入もれのないこと)、 健康調査票、 健康保険証コピー、 制服・正帽、 シュラフ、 ウレタンマット又は相当品、 作業着、作業帽、 雨具、 寝巻き、着替え(下着、靴下、Tシャツ)、タオル、 洗面用具、 軍手、 懐中電灯、予備電池、 ハンカチ、チリ紙、 ナイフ、 新聞紙、 初日弁当、 米5合(原則無洗米とする)、 水筒(1.0L以上)、 お金(2,000円程度+有料プログラム代)、 訓練用具他(ロープ、手旗、コンパス、三角巾、定規、筆記用具、ボーイ歌集、ボーイスカウトハンドブック等、各隊の基準による)、 2万5千分の1地形図「(八王子、上溝)左下原点で2cmの方眼線を引いておく」、 交歓用記念品、 防虫剤、 その他選択プログラムで指定されるもの(参加のしおりを参照)。

注意：ナイフ(野営地以外は、バックなどの保管し腰に下げること禁止する)

## 16. 到着報告

- (1) 参加隊はキャンポリー会場へ到着しだい、運営本部総務班で到着の手続きを完了する。
- (2) 手続きに際し、到着報告書の提出により、申し込み名簿と到着人数の確認をし、あわせて健康調査票を提出する。

## 17. 運営本部が準備する諸設備

本大会に用意される施設は、おおむね次のとおりで、詳細については、別に定める。

- (1) 合同セレモニー会場(ステージ、国旗ポール、照明、音響設備)
- (2) 本部サイト(会議場、本部食堂、救護所、記念品販売店、通信設備、各運営部門)
- (3) 野営サイト、仮設トイレ(10基)、
- (4) 駐車場(50台程度)、場外施設「風呂、シャワーについて施設の利用を検討中、例えば、相模原北総合体育館シャワー、及び公園内プール(有料)、温泉(有料)」
- (5) 各参加隊の設営が一人当たり約10㎡の基準でサイト割り当てをする。

以上

付表1：キャンポリー活動基本日程表

	8月10日(金)	8月11日(土)	8月12日(日)		8月13日(月)
6:00			起床・洗面		
			朝食準備		
7:00	スタッフ集合		朝食		
			点検・朝礼		
8:00	会場設営・資材搬入	スカウトズオウン	宗教行事		スカウトズオウン
9:00	参加隊受け入れ準備	選択プログラム	CS・BVS受付	選択プログラム	全体活動
			オープンキャンプ デイ		
10:00					
11:00	参加隊入場受入れ		CS・BVS プログラム		奉仕活動
					閉会式
12:00	弁当	昼食			
13:00	参加隊設営	選択プログラム	CS・BVS プログラム	選択プログラム	撤営
14:00					
15:00	隊の活動				参加隊退場
16:00	配給・夕食準備				
17:00	夕食				
18:00					
19:00	開会式	各隊による 交歓のつどい	キャンプファイヤー		
20:00					
21:00	隊長連絡会議				
	スタッフ会議				
22:00	消灯				

県央地区記念キャンポリー 会場  
「葉山島青少年広場」



葉山島青少年広場

相模原市緑区葉山島 156-1

